

223) それぞれの道

泣きながら歩いた道に 思い出が通りすぎてく  
どこまでもまっすぐ走る あの人のについてゆけずに  
ジグザグな私の道を ただひとり歩き始めた  
それぞれの倖せのため 別々の道を選んだ

泣きながら歩いた道に 思い出が通りすぎてく  
あのころは涙ばかりで 人生が見えなくなった  
後悔はしていないけど あの人に思いは募る  
過ぎ去った季節の記憶は 手を振って遠ざかってく

泣きながら歩いた道に 思い出が通りすぎてく  
暮れなずむ道の彼方に 運命の星を見つけて  
まっすぐに走ってゆけば あの人を追いかけられる  
いつの日かめぐり逢えたら 今度こそ結ばれるはず

泣きながら歩いた道を 黙々と歩いてゆく  
倖せはそれぞれだけど もしかして再会したら  
きっとまた愛し合えると 心では信じていたい

思い出はいつだって 美しい記憶だと  
あのころの日記には 細い字で書かれてる